

災害時情報提供サービスについて

2013.3.8

JARTIC 調査部

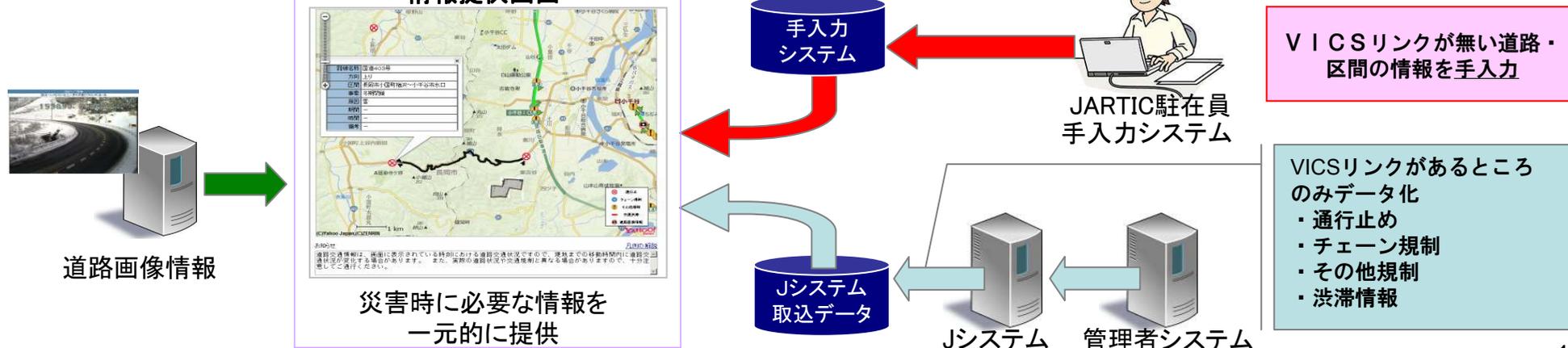
災害時情報提供サービスについて

震災や異常気象等の災害が発生し、道路交通に多大な影響があるとき、通行止めや渋滞など、ドライバーや道路交通情報ユーザが必要とする情報を提供する。

【主な特徴】

- 警察及び道路管理者から収集したオンライン情報（通行止め、交通渋滞など／人手を介さない機器接続による情報）を提供するほか、オンライン情報で表せないところでも、JARTIC職員が手作業で情報化できるシステムを構築し、オンライン情報にマージして提供する。
- 概況を瞬時に把握できるよう、通行規制や交通渋滞等を、デジタル地図上に「アイコン」と区間を示す線形「ポリライン」によって表示し、通行止めが多発しているエリアなどを面的に示す多角形「ポリゴン」で表示する。

【情報の流れのイメージ】



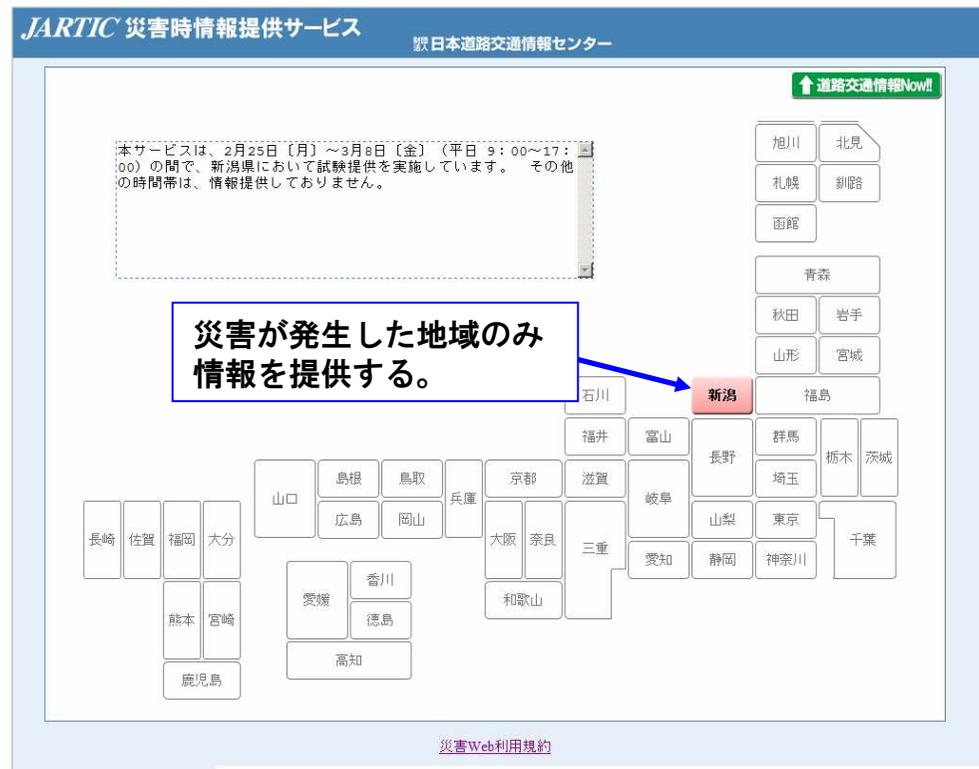
<情報提供画面>①トップ画面

災害等が発生した時、その地域のみで、情報提供を行う。
そのため、普段から利用できないサイト（道路交通情報）へ効率良く誘導するために、
年間15億ページビューの「道路交通情報Now!!」を入口にする。



道路交通情報Now!!
が入り口になる。

災害が発生した地域のみ
情報を提供する。



<情報提供画面>②通行規制・交通渋滞の画面

高速道路、都市高速道路、一般道路の災害などに伴う通行止め・通行規制や、交通渋滞の状況等を、一元的にデジタル地図で提供する。

- ・交通渋滞の区間をアイコンとポリラインで表示する。
- ・アイコン・ポリラインをクリックすると詳細情報をポップアップで表示する。

道路管理者の画像データ（静止画）を提供する。

テキスト情報（任意入力）によって、概況または個別事象の詳細などを表示する。



ユーザが印刷したい地図画面を印刷できる。

- ・通行規制の内容や区間をアイコンとポリラインで表示する。
- ・アイコン、ポリラインをクリックすると詳細情報をポップアップで表示する。

提供される主な情報は、

- ・通行止
 - ・チェーン規制
 - ・その他規制
 - ・渋滞
 - ・道路画像
- である。面的な情報が入力された場合は、凡例にも表示される。

面的な事象をポリゴンで表示する。

今後の展開

ドライバーや道路交通情報ユーザの視点、通信の技術発展によるデバイスの高度化や、それに伴う利用者のニーズの複雑化を踏まえ、より一層効果的な情報の提供について検討していく。

通行実績情報の提供



通行止めや交通渋滞の情報に通行実績情報を組み合わせることで、避難経路や物資輸送の参考になる情報を提供

スマートフォンでの情報提供



移動中のドライバーや道路交通情報ユーザが情報を確認できる、スマートフォン向けの情報を提供